

## 令和6年度 第4回下野市教育委員会定例会議事録

日 時	令和6年7月22日（月）午後1時00分～午後4時30分			
会 場	下野市役所3階 303・304会議室			
出席委員	教 育 長	石 崎 雅也	職務代理者	永山 伸一
	委 員	佐間田 香	委 員	川田 玲子
欠席委員	委 員	石嶋 和夫		
出席職員	教育次長		高山 正勝	
	教育総務課長		米井 正和	
	学校教育課長		石島 直	
	生涯学習文化課長		野口 修一	
	文化財課長		伊藤 隆行	
	スポーツ振興課長		根本 宣明	
	教育総務課課長補佐		厚木 充	
	学校教育課主幹兼指導主事		水本 百合子	
	学校教育課主幹兼指導主事		石崎 真清	
	学校教育課主幹兼指導主事		齋藤 勇也	
	教育総務課主査		篠崎 貴弘	
	教育総務課主事		阿部 維麻	

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍 聴 者 4 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和6年8月21日

### 教育長の報告

- 報告第13号 下野市教育委員会後援名義等の使用及び下野市教育委員会教育長賞の交付の承認の決定状況について
- 報告第14号 中学校・義務教育学校の部活動部員数及び令和6年度総合体育大会（地区大会）の成績について
- 報告第15号 とちぎっ子学習状況調査結果（速報）の報告について

### 議 事

- 議案第21号 下野市学校給食食物アレルギー対応委員会委員の委嘱又は任命について
- 議案第22号 令和7年度使用下野市立小中学校教科用図書の採択について

協 議

協議第 5号 第17回下野市教育のつどいについて

そ の 他

- (1) 下野市生涯学習推進協議会委員の委嘱について
- (2) 南河内東公民館についての要望書について

## 1. 開会

(石崎教育長) ただいまから、令和6年度第4回下野市教育委員会定例会を開会する。

## 2. 教育長あいさつ

(石崎教育長) 6月21日から本日7月22日までの職務について資料に基づき報告する。  
報告内容について、質疑等はあるか。(特になし)

## 3. 議事録署名人の選任 佐間田委員及び川田委員を指名

## 4. 前回議事録の承認

(石崎教育長) 前回議事録について、事務局に説明を求める。  
(厚木教育総務課課長補佐) 令和6年度第3回教育委員会定例会議事録について、修正が無かった旨説明を行う。  
(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)  
議事録はこのとおり決定とする。

ここで諮る。会議の円滑な進行のため、会議の順序を入れ替え、次第6の議事を先に審議することとし、また、議案の順序を入れ替え、議案第22号を先に審議することとしてよろしいか。(全委員承認)

それでは、次第5の教育長の報告を、次第6の議事の次に行うこととし、また、議案第21号を議案第22号の次に審議することとして進める。

## 6. 議 事

(石崎教育長) それでは、議案第22号、令和7年度使用下野市立小中学校教科用図書の採択について、説明を求める。

(石島学校教育課長) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6項の規定により、令和7年度に使用する中学校用教科用図書、小中学校特別支援学級で使用する学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について、委員会の議決を求めるものである。詳細については、担当から説明する。

(水本指導主事) 7月11日に開催した第2回選定委員会での協議、選定結果について報告する。小中学校特別支援学級用教科用図書の説明の後、中学校用教科用図書の順に報告を行う。

はじめに、特別支援学級用教科用図書についての報告を行う。特別支援学級用教科用図書については、変更がなかったものについては説明を省略し、供給不能図書、新しく選定された図書、削除を希望する図書についてのみ説明を行う。

まず、供給不能図書について報告する。絶版等により、小学

校3冊、中学校2冊が令和7年度の供給の見込みがないため、今回の選定対象から外れることとなった。

続いて、小学校特別支援学級用教科用図書について報告する。ここでは、新たに選定された図書を赤文字で示している。

#### 【小学校特別支援学級用教科用図書】

○国語「スキンシップ絵本あいうえお」

(ひさかたチャイルド)

・ひらがなや絵が見やすく配置され、文字と言葉を関連付けて学習できる。

○図画工作「こどもがたのしくつくる はじめてのこうさく」

(高橋書店)

・身近な材料を使用して手軽に作成でき、遊ぶことができる作品が数多く紹介されている。

続いて、中学校特別支援学級用教科用図書について報告する。報告の前に1点訂正がある。資料3の調査報告書9ページ、文部科学省著作教科書の理科において、「職業・家庭☆☆☆☆・☆☆☆☆」と記載しているが正しくは「理科☆☆☆☆・☆☆☆☆」となる。

新たに選定された図書を赤文字、削除を希望する図書を青文字で示している。詳細は報告書11～15ページに示している。

#### 【中学校特別支援学級用教科用図書】

削除を希望する図書

○社会「ドラえもん ちずかん2」(小学館)

・地形図としての要素が強く、地図として活用したい。

新たに選定された図書

○国語「言葉と文法にぐーんと強くなる小学5年生」、「言葉と文法にぐーんと強くなる小学6年生」(くもん出版)

・日常生活に必要な題材を用いて、单元ごとに学習のポイントが分かりやすく示されている点。

○地図「ドラえもん ちずかん1につぼんちず」「ドラえもん ちずかん2せかいちず」(小学館)

・それぞれ日本と世界の領域ごとの特色が分かりやすくまとまっている点。

○理科「理科にぐーんと強くなる小学5年生」、「理科にぐーんと強くなる小学6年生」(くもん出版)

・どの分野においても重要な部分が分かりやすくまとまっており、基礎基本の定着を図ることができる点。

○道徳「イラスト版子どものモラルスキル言葉・表情・行動で身につく道徳」(合同出版)

・様々な場面で、自分の気持ちを他の人に伝えるためのスキルを学ぶことができる点。

また、今年度新しく文部科学省著作教科書に社会、理科、職業・家庭が加わったので、これらを社会、理科、技術・家庭に選定している。

以上が挙げられた。

協議では一般図書の中にも優れた図書があること、著作教科書は本質をしっかりとらえ、分かりやすく十分な学習ができるなどの意見が出された。

審議の結果、新たに推薦された図書も含め、調査報告書1、2ページ9、10ページのとおり選定された。以上で特別支援学級用教科用図書の報告を終わる。

(石崎教育長)

それでは、委員の皆様から意見等はあるか。(特になし)  
続いて、中学校用教科用図書の報告に移る。はじめに「国語」「書写」の選定結果について、報告を行う。

(水本指導主事)

はじめに「国語」の報告を行う。

#### 【中学校用教科用図書「国語」】

教科書出版社4社の審議である。各社の共通点として、表現力と理解力を育成する教材をバランスよく配置することにより、双方の力を十分合わせるよう配慮されている点が調査員から挙げられた。協議では、読みやすさや文字の大きさ、フォントなどの見やすさや教材の取り上げ方などが話題となった。

審議の結果、「東京書籍株式会社」が教科用図書として選定された。

続いて「書写」の報告を行う。

#### 【中学校用教科用図書「書写」】

教科書出版社4社の審議である。各社の共通点として、学校でも既習事項を確認しながら、日常生活の場面での生かし方を学ぶことができるよう、工夫されている点が調査員から挙げられた。協議では、筆順や筆運びの記載などが話題となった。

審議の結果、「光村図書出版株式会社」が選定された。

以上、「国語」、「書写」の選定結果の報告となる。

(石崎教育長)

それでは「国語」、「書写」の選定結果について質疑、意見等はあるか。

私から、「書写」の教育出版については教科書の横幅が広いと感じるが、質問等はなかったか。

(水本指導主事)

教科書の幅についての意見はなかった。

(石崎教育長)

「国語」と「書写」を同一の出版社にするメリットはあるか。

(水本指導主事)

習った漢字の出る順番などの関連性はあると思うが意見としてはなかった。

(石崎教育長)  
(佐間田委員)

他に質疑、意見等はあるか。

「書写」の教科書について、光村図書が良いと感じた。お手本の大きさも横に並べて書くのにちょうど良く、後ろの方には、宅急便の送り方など実用的なものの書き方があり、子供が身近に感じやすい教科書だと思う。

「国語」の教科書については、コミュニケーション能力を育むという意味で三省堂が良いと感じた。資料編のところも、感想文の書き方や、巻末に難しい片仮名用語が書いてある学習用語辞典など、馴染みやすい教科書が良いと思った。東京書籍も良いと思っているので、先生方のご意見を伺いたい。東京書籍を選んだ理由はいくつかあったのか。

(水本指導主事)

東京書籍を選定した理由は、3つ挙げられた。1点目は、生徒が興味関心を持って、考えを深めることができる教材が選ばれている点。2点目は、読むことの教材で習得したことを、話すこと聞くことや、書くことの教材で活用、定着することができるよう、領域間の関連が図られている点。3点目は、読書に親しむ態度を育むことができるよう工夫されている点である。

(石崎教育長)  
(永山委員)

他に質疑、意見等はあるか。

私は選定委員会にも出ていたが、教科書にはそれぞれ様々な工夫があつて、結果的には選定委員会の方では東京書籍を選定したが、それぞれ素晴らしいところがあると思う。例えば三省堂は、資料編に読み物がたくさんある。これは素晴らしいと思った。ページ数も全部で359ページあり、他の教科書より多くなっている。光村図書は、特に斬新な取り上げ方をたくさんしていると思う。例えば、本屋大賞の作品が出ている。また、翻訳について、日本語訳によって作品のニュアンスが随分変わるということが翻訳の対比で出ている。これは私が読んでも面白いと感じた。

それから、光村図書の1年生の154ページのいろは歌の音読を楽しむという点について、どうしても現代人は黙読が中心になってしまうので、声を出して読んで、その音を楽しむということで、音楽を楽しむという視点等、いろいろな視点を盛り込んでいることに光村図書の切り口の多さを感じた。

(川田委員)

見た目の感想になるが、光村図書は手触りが他の教科書と違って少々ざらついており、この手触りが好きだと思った。東京書籍の方は、表紙の絵がパッと見たときに今話題の映画のような印象を受けるので、中学生になったばかりの生徒にとっていいのではないかと思う。

(石崎教育長)

私から1点、「国語」のページ数について、東京書籍は約300ページ、三省堂と教育出版は約350ページ、光村図書が約330ページとなっており、教科書会社によって30～50ページの差がある。ページ数が少ない教科書はコンパクトにまとめられており、ページ数が多い教科書は、より丁寧に具体的な事例を盛り込んでいるという印象を受けた。

他に質疑、意見等はあるか。

(永山委員)

読み物の数を見ても教科書会社ごとに差がある。文章が多ければ良いのか少ない方が良いのかというのは別な話だが、東京書籍は300ページ弱、三省堂は359ページ、教育出版は352ページ、光村図書が341ページということでばらつきがあるという印象を受けた。

(石崎教育長)

他に質疑、意見等はあるか。(特になし)

それでは「国語」「書写」については審議を終了する。

続いて、「社会」「地図」の選定結果の報告に移る。

(水本指導主事)

それでは「社会」「地図」の選定結果を報告する。

**【中学校用教科用図書「社会：地理的分野」】**

教科書出版社4社の審議である。各社の共通点として、写真や図解資料、グラフなどを豊富に使用し多面的・多角的に課題解決ができるように工夫されている点が調査委員から挙げられた。協議では、歴史的分野、公民的分野、地図と合わせて協議を行った。子供の学びやすさや、各領域同士の関連性などが話題となった。

審議の結果、株式会社帝国書院が選定された。

続いて、「社会：歴史的分野」について報告する。

**【中学校用教科用図書「社会：歴史的分野」】**

教科書出版社9社の審議である。各社の共通点として、単元全体を通して、見方、考え方を働かせ、様々な視点から課題について考察する活動が設定されており、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断することができるよう工夫されている点が調査員から挙げられた。協議では、地理的分野と同様の話題が出た。

審議の結果、東京書籍株式会社が選定された。

続いて、「社会：公民的分野」について報告する。

**【中学校用教科用図書「社会：公民的分野」】**

教科書出版社6社の審議である。各社の共通点として、多面的・多角的に考察し、課題について、複数の立場や意見を踏まえて、公正に判断し、説明、議論する力を養うための工夫がされている点が調査員から挙げられた。協議では、地理的分野と同様の話題が出た。

審議の結果、東京書籍株式会社が選定された。

続いて、「地図」について報告する。

**【中学校用教科用図書「地図」】**

教科書出版社2社の審議である。各社の共通点として、写真やグラフなどを豊富に使用し、他分野との関連が図られ、多面的・多角的に課題を解決することができるよう工夫されている点が調査員より挙げられた。

審議の結果、株式会社帝国書院が選定された。

以上で「社会」と「地図」の選定結果の報告を終わる。

(石崎教育長)

それでは「社会」、「地図」の選定結果について質疑、意見等はあるか。

(佐間田委員)

歴史について、東京書籍は近代の部分で日本の動きと世界の動きが並行に書かれており、視覚的に分かりやすく頭の中で整理しやすいと感じた。

公民については、東京書籍も分かりやすいが、表題が問いかけになっている点から、教育出版が良いと思った。母親としては、子供たちの考える力、日常生活に疑問を持って考えてディベートすることによって、これから成長する子供たちの生きる力になるのではないかと思う。ただ、学校として学ばなくてはいけない事項や先生方の視点で見たときには、東京書籍が分かりやすいと感じた。

(石崎教育長)

他に質疑、意見等はあるか。

(永山委員)

歴史について、近現代史に割いているページ数が教科書会社によって差があると感じた。そして、同じ事件をそれぞれ読んでいくと、教科書会社によって視点が様々であるという印象を受けた。また、公民についても、歴史と同様に編纂者の思い入れによって異なるニュアンスが見受けられた。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。

(川田委員)

個人的に、調べるときに後ろの索引から調べていくのだが、どの教科書も索引が見やすいと思った。索引から探す生徒もいるので、後ろの部分が見やすいというのも重要なポイントであると思う。

(石崎教育長)

私から2点。まず、歴史について、前回の教科書選定の際、岩手県の古墳・前方後円墳が記載されていない教科書が多かったが、今回の教科書を見たところ、ほとんどの教科書において記載があった。

公民は、写真という観点から、日本文教出版、東京書籍、教育出版の3社が良いと思った。子供の興味を引き、読んで勉強になるような興味深い写真が多く掲載されていた。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

以上で「社会」と「地図」の審議を終了する。

続いて、「数学」、「理科」の選定結果の報告に移る。

(水本指導主事)

それでは「数学」、「理科」の選定結果を報告する。

#### 【中学校用教科用図書「数学」】

教科書出版社7社の審議である。各社の共通点として、生徒が学習の見通しが立てやすく、生徒同士の話し合い活動の機会が多く設定され、主体的に学習が進められるよう工夫されている点が調査員から挙げられた。協議では、分かりやすさや具体的内容、抽象的内容の取り扱いなどが話題となった。

審議の結果、東京書籍株式会社が選定された。

続いて、「理科」について報告する。

**【中学校用教科用図書「理科」】**

教科書出版社5社の審議である。学習を通して、SDGsへの関心を高め、地球環境の保全や科学技術の振興に向けての具体的な取り組みを紹介している点が、調査員から挙げられた。協議ではインデックスの配色などのなどによる分かりやすさや、例示や探究の手法などが話題となった。

審議の結果、株式会社新興出版社啓林館が選定された。

以上で、「数学」と「理科」の選定結果の報告を終わる。

(石崎教育長) それでは「数学」、「理科」の選定結果について質疑、意見等はあるか。

(永山委員) どの教科書も非常に工夫が凝らされている。特に東京書籍の理科については、図が工夫されていて非常に分かりやすくなっている。巻末に載っている3Dペーパークラフトもよく考えられていると思う。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。

(佐間田委員) 数学と理科共通の感想となるが、今の教科書は二次元コードを使ったチャット機能などがあり、うらやましく思う。表紙も楽しい印象を受けるもので、苦手科目であっても興味を引くきっかけになる。導入としてとてもいいと思う。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。

(川田委員) 元素周期表に注目した。元素が何に使われているか記載がありとても興味深いと思う。学習するときに興味を持って授業を受けられのではないかと感じた。

(石崎教育長) 私からも1点。特に元素周期表が載っている場所に着目した。見やすいところ、探しやすいところに周期表のようなものがあると、自然と覚えてしまうのではないかと思う。このような裏表紙の使い方も、選ぶ際の参考にしたいと考える。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)

以上で「数学」と「理科」の審議を終了する。

続いて、「音楽」「美術」の選定結果の報告に移る。

(水本指導主事) それでは「音楽」「美術」の選定結果を報告する。

**【中学校用教科用図書「音楽：一般」】**

教科書出版社2社の審議である。各社の共通点として、各学年、全学年を通して、教材が系統的発展的に組織され、目標とする学習内容や、学習活動との結びつきが分かりやすくなっている点が、調査員から挙げられた。協議では、音楽を形づくる要素の取り上げ方に関する話題が出た。

審議の結果、教育出版株式会社が選定された。

続いて、「音楽：器楽合奏」について報告する。

【中学校用教科用図書「音楽：器楽合奏」】

教科書出版社2社の審議である。各社の共通点として、各楽器の特徴や基礎的な奏法が分かりやすい、写真と丁寧な説明文で示されている点が調査員から挙げられた。協議ではリコーダーの奏法・演奏の仕方や、音の響かせ方の説明について話題となった。

審議の結果、教育出版株式会社が選定された。

続いて、「美術」について報告する。

【中学校用教科用図書「美術」】

教科書出版社3社の審議である。各社の共通点として、写真や図版が豊富で、印刷が美しいことや、作品を原寸大で示したり、用紙の質感にこだわったりなど、より実感を伴って鑑賞ができるような工夫をしている点が調査員から挙げられた。協議では表紙などの素材の工夫や他教科との関連などについて話題となった。

審議の結果、開隆堂出版株式会社が選定された。

以上で、「音楽」と「美術」の選定結果の報告を終わる。

(石崎教育長)

それでは「音楽」と「美術」の選定結果について質疑、意見等はあるか。

まず私から、器楽について、両方とも素晴らしいと思うが、あえて差をつけるならば、ギター、琴、三味線の3つを見たときに、教育出版の方は、その3つの楽器が終わった後に、1つ1つの特徴、弾き方だけではなくて、それぞれを比較するページがある。さらにそのあと、楽器の仲間たちとして広げている。両方とも素晴らしいが、やや教育出版さんの方が良いと思う。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。

(永山委員)

美術について、まず印象から開隆堂の表紙のインパクトが素晴らしいと思う。鉛筆の使い方にしても、ハッチングのやり方など、より詳しい内容になっている。これを見ながらすぐにでも使えるような工夫がされていると思う。表紙の圧倒的なインパクトと、内容の細かい部分を見ると、開隆堂は素晴らしい教科書作ったという印象である。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。

(佐間田委員)

個人的な感想になるが、音楽や美術は表現をする教科なので、わくわくするような気持ちになれると良い。先ほどの永山委員の意見のように、開隆堂の美術の教科書を見ると、絵って素敵だなと眺めてしまうところが良いと思う。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。

(川田委員)

音楽の年表だが、作曲家の写真について、日本の文化と外国の古典派ロマン派などが比較して見られるという点が教育芸術社の方が優れていると思った。ソルフェージュについて、アンダンテ・アレグロなど比較したときに、教育芸術社より教育出版の方が見やすい表記になっていると感じた。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)  
以上で「音楽」と「美術」の審議を終了する。  
続いて、「保健体育」、「技術・家庭」の選定結果の報告に移る。

(水本指導主事) それでは「保健体育」、「技術・家庭」の選定結果を報告する。  
【中学校用教科用図書「保健体育」】

教科書出版社4社の審議である。各社の共通点として、導入部分で、身近な事柄を扱うことで、興味を持って学習をスタートさせ、学習のポイントをキーワードで示し、その学習の内容の活用を目指した学習活動が、展開できるような構成となっている点が調査委員から挙げられた。協議では、学習の流れを示すためのページのレイアウトの分かりやすさが話題となった。

審議の結果、東京書籍株式会社が選定された。

続いて、「技術・家庭：技術分野」について報告する。

【中学校用教科用図書「技術・家庭：技術分野」】

教科書出版社3社の審議である。各社の共通点として、実践的体験的な学習となるよう配慮されていることや、生徒の学習意欲を喚起し、主体的な学習を促す工夫がなされていることが、調査員から挙げられた。協議では、見やすさや分かりやすさが話題となった。

以上の報告を受け、調査員の推薦は東京書籍株式会社であったが、審議の結果、教育図書出版株式会社が選定された。

続いて、「技術・家庭：家庭分野」について報告する。

【中学校用教科用図書「技術・家庭：家庭分野」】

教科書出版社3社の審議である。各社の共通点として、専門家や先輩からのメッセージが載せられており、キャリア教育と関連付けて学ぶことができ、社会の変化を踏まえて学習を深められるように工夫されている点が、調査員から挙げられた。協議では、消費生活や調理実習の手順などが話題となった。

審議の結果、開隆堂出版株式会社が選定された。

以上で「保健体育」と「技術・家庭」の選定結果の報告を終わる。

(石崎教育長) それでは「保健体育」と「技術・家庭」の選定結果について質疑、意見等はあるか。

(永山委員) 家庭分野について、教育図書の教科書において、消費生活についての記載が非常に詳細である。18歳が成人となった今、早期の教育が必要ということを考えると、消費者問題についてここまで詳細な資料があると非常にありがたいと感じた。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。

(佐間田委員) まず、家庭分野について、永山委員と同様に、消費者問題に

ついて、親としてもここまで詳しくは教えられないと感じた。生きる力ということでも、早期の教育が必要であると思う。保健体育について、思春期の分野、自律神経失調症など、子供が今抱えている悩みの部分やアレルギーの記載など、今回選定された東京書籍がページ数も多く、子供にも分かりやすいと思う。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。

(川田委員)

家庭科について、いろいろなレシピが載っているが、子供たちは教科書を見て実際にどのぐらい作るのかと思う。自宅で作る子もいると思うが、教科書を見て作りたいという気持ちになる子は少ないのではないかと思う。

(石崎教育長)

私から1点。技術分野に関して、東京書籍か教育図書のいずれかが良いと思う。近年、児童生徒数の減少により、学級数や教職員定数が減りつつある。栃木県内でも美術や技術・家庭の先生が配置できない学校が増えている。そういった中で、免外解消非常勤とあって、複数の学校を兼務することにより、解消を図る学校もあれば、担当外の先生が年間に2、3回の研修を受けることで、免外教科として専門教科以外を教えているという学校も増えている。そういった点から、教科書については、専門性よりも、専門の先生でなくてもある程度教えることができ、子供たちもある程度自分たちで学ぶことができるという観点から、この2社が良いと考えている。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

以上で「保健体育」、「技術・家庭」の審議を終了する。

続いて、「英語」、「道徳」の選定結果の報告に移る。

(水本指導主事)

それでは「英語」、「道徳」の選定結果を報告する。

#### 【中学校用教科用図書「英語」】

教科書出版社6社の審議である。各社の共通点として、具体的な目的、場面、状況が設定されている4技能を統合した活動が、各学年、年3回程度設定されており、自己表現を高められるよう工夫されていることなどが調査員から挙げられた。協議では場面設定の工夫や、楽しく学習するための工夫などが話題となった。

審議の結果、株式会社三省堂が選定された。

続いて、「道徳」について報告する。

#### 【中学校用教科用図書「道徳」】

教科書出版社7社の審議である。各社の共通点として、諸問題を多面的、多角的にとらえて、考えを深めるための工夫がされていること、生徒同士の議論や対話を促すような教材や仕掛けがあることが、調査員から挙げられた。協議では、話し合い活動のスタイルや教材の興味深さなどが話題となった。

審議の結果、日本文教出版株式会社が選定された。

以上ですべての選定結果の報告を終わる。

(石崎教育長)

それでは「英語」と「道徳」の選定結果について質疑、意見等はあるか。

まず私から。調査員が中学校の先生だけであり、小学校の先生がいない。つまり、小学校の先生の意見が反映されない。小学校で学んだ内容を、中学校で学び直した場合に、子供たちの興味関心を落としてしまうという話もある。最初から会話に重点を置いている教科書もあれば、アルファベットの書き取りから始まる教科書もあるため、実際に小学校で教えている先生方の意見が反映されるといいと思う。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。

(永山委員)

道徳について、選定委員会ではこの道徳ノートがついているという点が非常に使いやすいということで、日本文教出版名が選ばれた。ただ、気になるのは、サブタイトルに答えが出てしまっている点である。子供たちがこの教材に接したときに、まず答えが先に出てしまっているため、その経路に従って考えてしまうのではないかという懸念がある。子供たちが思考停止にならないような教科書を選んであげたほうがいいと思う。また、東京書籍の場合は、哲学を道徳の中に入れていところが新しい印象である。道徳というのは、どうしても先に価値感があって、その価値感に沿った子供を育てるといような方向に走りがちであるが、そうでなくて、子供たち自身が、哲学的に自分たちの一生をどう生きるかということを考えていくことが非常に大切だと思う。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。

(佐間田委員)

英語については、三省堂の出だしが子供たちの導入に良いと思う。道徳については、道徳ノートが実際にどのような使われ方をされているのか分からないが、多くの先生が利用しているということで、使いやすいものであると感じた。教育出版の教科書では、生徒会選挙の他、社会参画という面で、愛知県の若者議会のように高校生が議会を行っているという内容が組み込まれている。これが下野市でもできると良いと思う。大人としても考えさせられる内容が充実していると感じる。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。

(川田委員)

道徳については、テーマが決まっているので、授業を受ける際に答えありきになってしまい、考えさせることが難しい。それぞれ子供たちなりの考えがあると思うので、クラスの生徒と授業で共有できるようなものになればいいと思う。いじめだったら、いじめは駄目。そのためにはどうしたらいいのかを掘り下げて授業を行って欲しいと思う。

(石崎教育長)

他に質疑や意見等はあるか。(特になし)

それでは、これより採決に移りたい。採決の内容については非公開となるため、教育長と教育委員は別室に移動する。

(教育長・教育委員が一旦退出する。)

【採決 非公開】

(ここで会議の非公開を解く。)

(石崎教育長) 議案第22号「令和7年度下野市立小中学校教科用図書の採択について」採択結果を報告する。

・令和7年度使用小学校特別支援学級用教科用図書採択一覧表

科目	書名	発行者名
国語	スキンシップ絵本あいうえお	ひさかたチャイルド
図画工作	こどもがたのしくつくる はじめてのこうさく	高橋書店

・令和7年度使用中学校特別支援学級用教科用図書採択一覧表

科目	書名	発行者名
国語	言葉と文法にぐーんと強くなる小学5年生 言葉と文法にぐーんと強くなる小学6年生	くもん出版
地図	ドラえもんちずかん1につぼんちず ドラえもんちずかん2せかいちず	小学館
理科	理科にぐーんと強くなる小学5年生 理科にぐーんと強くなる小学6年生	くもん出版
道徳	イラスト版どものためのモラルスキル言葉・表情・行動で身につく道徳	合同出版

・令和7年度使用中学校用教科用図書採択一覧表

科目	書名	発行者名
国語	新編 新しい国語 1 新編 新しい国語 2 新編 新しい国語 3	東京書籍
書写	中学書写 一・二・三年	光村図書
社会 (地理的分野)	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	帝国書院
社会 (歴史的分野)	新編 新しい社会 歴史	東京書籍

社会 (公民的分野)	新編 新しい社会 公民	東京書籍
地図	中学校社会科地図	帝国書院
数学	新編 新しい数学 1 新編 新しい数学 2 新編 新しい数学 3	東京書籍
理科	未来へひろがるサイエンス 1 未来へひろがるサイエンス 2 未来へひろがるサイエンス 3	啓林館
音楽 (一般)	中学音楽 1 中学音楽 2・3上 中学音楽 2・3下	教育出版
音楽 (器楽合奏)	中学器楽 音楽のおくりもの	教育出版
美術	美術 1 美術 2・3	開隆堂出版
保健体育	新編 新しい保険体育	東京書籍
技術・家庭 (技術分野)	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト	教育図書
技術・家庭 (家庭分野)	新 技術・家庭 技術分野 暮らしを創造する	教育図書
英語	NEW CROWN English series 1 NEW CROWN English series 2 NEW CROWN English series 3	三省堂
道徳	新編 新しい道徳 1 新編 新しい道徳 2 新編 新しい道徳 3	東京書籍

以上で、議案第22号を終了とする。

(石崎教育長) 続いて、議案第21号下野市学校給食食物アレルギー対応委員会委員の委嘱または任命について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長) 議案第21号を決定してよろしいか。(全委員承認)  
議案第21号は原案のとおり決定する。  
ここで、非公開を解く。

続いて、協議に移る。

## 7. 協議

(石崎教育長) 協議第5号、第17回下野市教育のつどいについて、説明を  
求める。

(米井教育総務課長) 前回定例会での各委員からの意見を反映させた内容について  
確認したい。日時は令和7年1月25日(土)、午前9時から  
12時まで。場所は国分寺公民館大ホールとなる。記念講演に  
ついては、永山委員より提案いただき、スケジュールも問題な  
いとお返事をいただいている「谷 伸」氏。演題は仮だが「海  
底地形のお話」で進めたいと思う。

(石崎教育長) また、各教育委員の役割分担についても決めていただきたい。  
それでは意見はあるか。  
講評は永山委員にお願いしたい。

(永山委員) 承知した。

(石崎教育長) 続いて、表彰の読み上げ2名。

(佐間田委員) 希望する。

(川田委員) 希望する。

(石崎教育長) 佐間田委員と川田委員にお願いする。

では、本日欠席だが、石嶋委員に開会・閉会のことばを願  
いする。(全委員承認)

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。

(米井教育総務課長) 谷氏との講演についての調整は教育総務課で行うことによ  
ろしいか。

(永山委員) お願いする。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、報告に移る。

## 5. 教育長の報告

(石崎教育長) 報告第13号、下野市教育委員会後援名義等の使用及び下野  
市教育委員会教育長賞の交付の承認について、説明を求める。

(米井教育総務課長) 資料に基づき、共催1件、後援1件の申請を承認した旨、説  
明を行う。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

続いて、報告第14号、中学校・義務教育学校の部活動部員  
数及び、令和6年度総合体育大会(地区大会)の成績について、  
説明を求める。

(石島学校教育課長) 資料に基づき、中学校・義務教育学校の部活動部員数及び、  
令和6年度総合体育大会(地区大会)の成績についての説明を  
行う。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。

初めての県大会出場であるとか、何年ぶりの出場であるとい  
った特徴的な情報はあるか。

(石島学校教育課長) 確認していない。  
(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)  
続いて、報告第15号、とちぎっ子学習状況調査結果(速報)について、説明を求める。  
ここで諮る。議案第15号については未公開の案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、非公開として進めたいと思うがよろしいか  
(全委員承認)  
それでは議案第15号を非公開として進める。

以下、非公開

(石崎教育長) ここで非公開を解く。  
続いて、その他に移る。

## 8. その他

(石崎教育長) 事務局から連絡事項等はあるか。  
(野口生涯学習文化課長) (1) 下野市生涯学習推進協議会委員の委嘱について、説明する。7月10日に生涯学習推進本部長である市長より委嘱されたものである。  
(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)  
他に事務局から連絡事項等はあるか。  
(野口生涯学習文化課長) (2) 南河内東公民館についての要望書について、説明する。前回議会の一般質問の中で、教育委員会と情報共有しながら検討を進めるとしており、今回報告するものである。  
(石崎教育長) 質疑等はあるか。  
(永山委員) 今後、公民館でなくなってしまうのか。  
(野口生涯学習文化課長) それも含めて検討する。社会教育施設として位置付けを残すのか、公民館運営審議会などで相談していきたい。  
(永山委員) 公民館とコミュニティセンターが併設している施設はあるのか。  
(野口生涯学習文化課長) 市内ではない。  
(石崎教育長) この要望書は市長にも出ているのか。  
(野口生涯学習文化課長) 出ている。市長部局でも協議が進み、教育委員会にも改めて提出された。  
(石崎教育長) 承知した。  
その他質疑等はあるか。(特になし)  
他に事務局から連絡事項等はあるか。(特になし)  
教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。(特になし)  
以上でよろしいか。(全委員承認)  
それでは、次の開催日程について、事務局に説明を求める。  
(厚木教育総務課課長補佐) 次の教育委員会定例会は、令和6年8月21日(水曜日)午後1時30分から、教育委員会室で開催を予定している。

**9. 閉会**

(石崎教育長)

以上をもって、令和6年度第4回教育委員会定例会を閉会する。

(午後5時05分閉会)

議事録作成者

議事録署名人

議事録署名人